

議会報編集委員会記録

1 日 時 平成29年8月21日(月)

開会 午前 9時55分

閉会 午前10時38分

2 場 所 第2委員会室

3 出席議員 10人

委 員 長	高 田 重 信
副 委 員 長	松 井 桂 将
委 員	松 井 邦 人
委 員	金 谷 幸 則
委 員	岡 部 享
委 員	木 下 章 広
委 員	舍 川 智 也
委 員	高 田 真 里
委 員	高 道 秋 彦
委 員	小 西 直 樹

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した職員

【議会事務局】

事務局 長	中 田 貴 保
事務局 次 長	岡 地 聡
議事調査課 長	福 原 武
議事調査課 主 幹	坂 口 輝 之
議事調査課 副 主 幹	朝 倉 雅 彦
議事調査課 調 査 係 長	牧 野 仁 美
議事調査課 主 査	高 畑 明 美
議事調査課 主 任	桂 川 卓 也
議事調査課 主 任	野 島 美 央

6 協議結果について

1 とやま市議会だよりの検討事項について

(1) 編集コンセプト

(提案の趣旨：編集コンセプトを明確化し共有する。)

協議の結果

市民にわかりやすい紙面を届ける。そして議会に興味、関心をさらに持っていていただき、ご意見をいただけるような議会報とするというコンセプト、方針を共有し、編集していくこととする。

(2) 市民参加の紙面

(提案の趣旨：市民が登場する表紙や、紙面づくりとする。)

協議の結果

今後、市民が参加している写真なども掲載していくこととする。

(3) 一般質問(QRコード)

(提案の趣旨：一般質問の個人写真、題などの箇所に、それぞれQRコードを掲載する。QRコードを読み込むと、個々の質問インターネット中継につながるようにする。)

協議の結果

一般質問の議員名の横に、その議員のインターネット録画の質問につながるQRコードを掲載する。

(4) インターネット中継案内(QRコード含む)を表紙に記載

(提案の趣旨：インターネット中継案内(QRコード含む)を市議会だより表紙に記載する。)

協議の結果

表紙に、市議会のホームページのトップページにつながるQRコードを掲載する。

(5) 委員会メンバー 編集後記

(提案の趣旨：編集後記と委員の氏名を掲載する。)

協議の結果

編集後記を掲載する方向で検討していくこととする。

(6) 表紙

(提案の趣旨：現在使用している市議会だよりの基本フレームを変更し、イメージ変化を狙う。)

協議の結果

表紙の枠、フレームを変えて、デザインも含め、検討していくこととする。
表紙の枠を消すのは、9月定例会号から対応する。

(7) デザイン 枠

(提案の趣旨：紙面の外(周り)に枠をとっている為、掲載分が狭い。
デザイン的にも古い感じがするので、変更する。)

協議の結果

表紙の枠、フレームを変えて、デザインも含め、検討していくこととする。

(8) 議案・意見書・請願の賛否一覧を会派および議員ごとに記載する。

(提案の趣旨：会派により議員の賛否が分かれることがあるので、会派名、議員名ごとに記載する。)

協議の結果

現状どおりとする。(会派だけの賛否一覧を載せる。)

(9) 議会日程

(提案の趣旨：次回の定例会の日程を掲載する。)

協議の結果

現状どおりとする。(次回の定例会の日程は掲載しない。)

(10) 議会だよりの作成にあたり、別の視点からのアドバイスを入れることができないか検討をする。

(提案の趣旨：読者である市民にアンケートやモニターなどの形で意見・要望を募ることはできないか検討する。)

協議の結果

今後、必要な時に検討する。

(11) 本文はタテ書きに

(提案の趣旨：役所の書類はヨコ書きが多いが、一般的にタテ書きの方がなじみがある。例えば、新聞や週刊誌、小説など。タテ書きも入れてなじみやすいようにする。)

協議の結果

今後、調査し検討する。

7 会議の概要

委員長 おはようございます。ただいまから、議会報編集委員会を開会いたします。

〔傍聴の申込み（1名）について諮る
…許可〕

委員長 それでは、協議にさきだち、委員会記録の署名委員に、松井邦人委員、金谷委員を指名いたします。

これより、本日の協議事項に入ります。本日、ご協議いただきますのは、さる7月4日に開催いたしました当委員会において、ご意見のありました見やすくわかりやすい「とやま市議会だより」のレイアウトと、「とやま市議会だよりの検討事項について」であります。

先般、委員の皆さんには、検討事項の提出をお願いいたしましたところ、いろいろなご意見を出していただきました。ありがとうございました。9月定例会号では、本日の検討事項の協議により、掲載内容等が変更になることも考えられるため、本日は、協議事項を皆さんにご案内いたしておりましたが、協議事項1番目の「レイアウトについて」は、次回の協議にまわしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定いたします。それでは、「とやま市議会だよりの検討事項について」ですが、お手元に配布しておきましたので、ご覧いただきたいと思います。各委員からご提案をいただきました検討事項につきましては、正副委員長で協議をいたしまして、検討事項を、短期的課題 1・短期的課題 2・中期的課題に分類をさせていただきました。本来であれば、もっと早く皆さんのお手元に届けるべきであったところですが、視察だとか、お盆だとかいろいろ重なりあったことで、今日お渡しすることになりましたことをお詫び申し上げたいと思いますのでご了解をお願いいたします。

まず、短期 1 は、現行の予算と紙面で概ね対応可能と考えられるものであります。次に、短期 2 は、場合によってはページ数の増や予算との兼ね合いを見ながら、少し協議に時間がかかると思われるもので、できれば 12 月定例会号を目途に対応できればと考えております。中期の課題は、予算が関係するものや、検討にある程度、時間を要すると思われるものなどでありますので、この中には、紙面のスペースや予算などの

関係から、実現が困難なものがあるかもしれませんが、限られた予算の中で、できるだけ実現できるように、そして、実現可能なものにつきましては、どのようにしていくのかを具体的に協議していきたいと思っておりますので、皆様のご意見をよろしくお願いいたします。

それでは、本日は、検討事項のうち、短期1についてご協議いただきたいと思います。まず、短期1の「編集コンセプト」ということではありますが、もう一度、確認という意味で提案させていただきました。この富山市議会報発行規程の第1条趣旨に書いてあるとおり、市民に周知し、市議会に対する理解を深めることを目的としますが、今年度の議会報編集委員会は議会改革という中の一翼を担うという大きな役目があるというふうに思っております。皆さんも、そう思っておられると思います。そうした役目を担うために議会報のあり方をどうしていくのか、そのために皆さんにいろいろ意見を出していただいたものと思っておりますが、そのことを踏まえて市民の皆さんにわかりやすい紙面を届ける、そして議会に興味、関心をさらに持っていただき、いろんなところで、また、ご意見をいただけるような議会報としていくという一

つのコンセプトといたしますか、方針というものを、委員の皆さんと共有したいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

そういう思いで、順次、意見・提案につきまして検討していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、2の「市民参加の紙面」についてであります。このご意見について、順次、どなたからでも何かあればお聞かせください。

岡部委員

私の提案です。比較的、とやま市議会だより、特に表紙についてですが、ここ最近のものを見た限りでは、あまり動きのないところが多いように思われます。全体的に見れば、市民が参加した写真等が多いように思われますので、やはり、読まれる、見てもらえるというのは、自分が参加しているところがあれば読まれると思いますので、そういうようなところ、富山はガラスに比較的力を入れているので、ガラス工場の体験をやっている写真とか、そういうものも含めて入れたらどうかという思いで提案さ

せていただきました。

委員長

そのほかに何かご意見は。今のご意見は、議会とかそういうことに関わらず、富山市政が行っている施策の中の行事だとか、そういったことに参加している市民の写真ですね。

岡部委員

神経を使って撮っている、顔が写らないようにということもありますが、なるべく動きのある写真のほうがいいかなというふうに思います。

委員長

それでは、検討事項がたくさんありますので進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。それでは、この件につきまして、市民が参加している写真なども掲載するようにしていきたいということに、ご意見ないようですので、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、写真を撮るときの、そこの注意だけはまたしっかりと、事務局のほうに、そのように対応をお願いしたいと思います。それでは、そのように決定したいと

思います。

委員長

それでは、次に3ですが、「一般質問のQRコード」についてです。実現ということにつきまして、ご意見を伺いたいと思います。

高田真里委員

提案させていただいたのですが、今、議会が終わって、顔写真と名前と質問された内容、一質問と答弁が出ているけれども、そこにそれぞれのQRコードを名前の横などに付けることによって、皆さんスマホなどお持ちの方が多くなられたので、読み込みに行くと、議会で質問した人のインターネット中継のその人の全体の映像が、すぐに見れるところのページに飛ぶようにしていけば、他にどんなことをこの人は聞いているのだろうというところに大変導入しやすくなるので、せっかくインターネット中継が始まったので、スペースもとらないですし、できればいいかなと思って提案しました。

委員長

このことに関連して4番が、「QRコード」ということですが、これについて小西委員。

小西委員 私は、3番の議員のQRコードが良いとは思いながら、後ろに今載っているインターネット中継のQRコードを表紙に掲載したらいいのではないかと考えて提案しました。できれば、高田委員が言われた議員別のQRコードのほうが良いと思います。

委員長 他にご意見は、ないようですから、このQRコードを進めるという形でよろしいでしょうか。

副委員長 急に、画期的といえますか、時代の流れによってQRコードの掲載は大変良いことだと思いますが、パケット通信料が多額に発生するという問題も抱えていると思います。フリープランなら、お金がかからないのならいいですが、安易に子どもなどがアクセスして、急にパケット料金が上がって、多額の請求がくるといった可能性もありますから、慎重にといえますか、そうならないような、表記、注意書きも必要かなと。

委員長 今のご意見について、事務局としては、テクニク的に、大きさ等についてどのように判断されていますか。

議事調査課長 事務局のほうでは、印刷会社とも相談しま

して、スペース的にも充分対応は可能です。
今のところ、料金の発生もないのでやることは十分に可能です。

委員長 時期的にもそんなに難しくないですか。

議事調査課長 難しくないです。

委員長 それでは、今、松井副委員長からもありましたが、受け取る側、見る側のほうの注意事項は多少検討しなくてはなりません、進めるといふ方向でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定させていただきます。

今ほどちょっとありましたが、QRコードを読み込んだときに、インターネット中継のほうに飛ぶか、富山市議会のホームページのほうにアクセスするか、どちらがいいですか。

小西委員 両方ともできるのではないですか。

議事調査課長 両方ともできます。

舎川委員 例えば、その時の表紙に関連したところに、質問であれば個人の質問に飛ばばいいですし、表紙であれば、表紙はその時々で、違うので、表紙に関連したところに飛ぶのはどうでしょうか。

委員長 市議会だよりのほうに飛ぶということですか。

舎川委員 そうです。市議会だよりに飛ぶのは、難しいですか。

高田真里委員 表紙に載せる QR コードを市議会の6月定例会の全体が載っているトップのところに行くのですか。

小西委員 今も、中に載っているのですが。

委員長 そのままで良いですか。

高田真里委員 両方、表紙も、個人のところにも載るのでですか。

議事調査課長 高田真里委員が言われる質問者の横に QR コードをつけるというのは、インターネット録画のその議員さんが質問しているところへ直接飛ぶようにできます。表紙につい

では、インターネット録画のトップページのところにいくのか、市議会そのもののトップページにいくのかというところを、ご協議いただければと思います。

委員長

先ほど言ったように、広報の役目として、市議会というものをわかってもらうためには、富山市議会のホームページに、飛んだほうが良いのかなと私は思っているのですが、それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

岡部委員

表紙の部分ですね。

委員長

表紙の部分です。それでは、富山市議会のホームページのほうにアクセスするようにするというご理解いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長

それでは、5番目ですが、「編集後記と委員の氏名の掲載」についてです。

これは私が提案したのですが、委員がしっかりと、この議会報委員会に携わっているので、1人ずつでも良いので、広報の後記についてひとこと書いてはどうかということと言わせていただいたのですが、ただ名

前をどうするのか。毎回毎回載せる必要があるのかなど、皆さんこれについてご意見はどうでしょうか。

木下委員 実際、編集に携わっている人間の顔、名前が見えてくるのは良いことなので、良いと思います。

副委員長 問題になっているのは、載せ方です。基本的に任期は1年です。年4回ですよね。編集後記を担当するとしたら全員にはまわらないという問題があります。

委員長 そこらへんの後記の書き方は委員長、副委員長に任せていただければと思いますが、委員の名前を毎回出すかどうかということなのですが。

副委員長 今、それをやるかどうかも含めて。

委員長 それでは、まず、編集後記を載せるということに対してご意見がないようですが、載せるということによろしいでしょうか。それとも、決を取ったほうがいいですか。必要なかどうなのか。今、木下委員のほうからは顔が見えるからということで賛成の意見がありました。他に何かご意見は。

それでは今、早急に慌てて決めることなく、しばらく様子を見ながらにしましょうか。挙手をとりますでしょうか。それでは、載せていいという人の賛成の挙手を。

〔挙手 6人〕

委員長 それでは、今日決めなくても次回でもゆっくりと検討しながら、というかたの挙手を。

〔挙手 0人〕

委員長 載せなくていいというかたの挙手を。

〔挙手 1人〕

委員長 それでは、一応、6人ということで、編集後記を、長い短いはまだ検討しますが、載せるという方向で、進めたいと思います。それでは、そのように決定いたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、次に、「表紙デザイン」ということで、6、7で挙がっていますが、先ほど表紙の写真の件につきましては、お話がありました。現在使用している市議会だよりの基本フレームを変更し、イメージ変化を狙うというご意見がありました。松井

邦人委員だったのですが、それについて説明を。

松井邦人委員

他の市議会だよりを見させていただいたときに、やはり、表紙のところに工夫をされている議会が多くて、今、とやま市議会だよりを見させていただくと、申し訳ないですが、予算の関係もあると思うので、それは一概に言えない部分があるのですが、ちょっと古いかなという感じを受けるのが、私の率直な感想です。それで、ここは予算の関係があるので、今できるかどうかわからないのですが、表紙の作り方に関して、やはり例えば変更するにはお金がかかるだろうし、デザインをどうするのかという部分になるとやはりお金がかかる部分なので、今すぐとは言わないのですが、そういうところを検討することによって、例えば一般の人たちが正直な話、ぱっと見た時に目につくかつかないかということって、表紙が一番大事な部分だと思いますので、そういったところに力を入れることが、まず導入部分として必要かなという思いで考えてみました。少し付随するか外れるかは、わかりませんが、例えば、今富山市が契約しているペロリッチ、そういったキャラクターを議会報の表紙とかにつけるとか、例

えば、ペロリッチが議会だよりを紹介していくとかといったようなせっかく富山市が契約しているキャラクターを使うということ、表紙に持って行くことによって、導入部分として間口を広くできるのかなという思いで、書かせていただきました。

委員長

皆さんのお手元には、全国入賞の議会報があり、見られたと思うのですが、それを踏まえてご意見をどうぞ。

木下委員

今、松井邦人議員が言われたように、予算のことが頭にあったものですから、どうなのかなと思ったのですが、ある市民のかたから、市議会だよりが、届くのだがマンネリ化しているような印象を受けるという声があったので、定期的に顔となる表紙の部分のデザインを変えたりして、気を引く、目を引く、そういった手に取ろうとするようなきっかけづくりといたしますか、そういったことを定期的に試みたほうが良いのかなという思いが、私の中ではあります。

委員長

事務局にお伺いしますが、今のフレームを変えることによる予算は。

議事調査課長

予算が増えることはないです。

委員長 ということでもありますので、それも踏まえて。

金谷委員 松井委員が言っておられるように、富山市から外部に発信するものなので、総務文教の、広報のほうでも、試行錯誤しておられますが、ペロリッチを使ったり、アメイジングトヤマのフレームを使ったり、そういうことをここだけでなくて、富山市全体として発信することに、ある程度トータルイメージを作っていくほうがより相乗効果があがっていくと思います。私も名刺を作らせていただいたが、アメイジングトヤマのフレームが各所にいろいろ設置されているので、そういうものを利用していくのは、良い効果がでるのではないかと考えております。

委員長 表紙については、その程度でいいですか。何かご意見ありますか。

岡部委員 この上の部分は、顔なのです。タイトルは。ここを見たら、とやま市議会だよりだと、市民の方は、大体イメージとして持っておられると思います。家に届いたときに市議会だよりだとわかるので、この上のパターンは変えない。問題は、この下の部分

をどのように工夫していくかだと思います。ここに何を組み込んでいくか。上の部分はなるべく変えないほうが良いと私は基本的に思うところです。変えるとしてもタイミングをみて、時期をみて、変える。毎月変えるものではないなと思います。

委員長 本当にリニューアルではなくて、この部分を残しながら、他の部分のところはちょっと変更しますか。

岡部委員 そこを、工夫していくということが。

委員長 先ほどの写真を載せるときも含め、レイアウト、四隅がどうしても空白の部分があったりして、そのへんが表紙の変えどころかなと思うのですが。

高田真里委員 この下の、「デザイン、枠」この四隅枠をとっているのは、私が言ったのですが、結局、四隅に枠をとっているのが古いイメージだと思っていて、そして掲載部分も少なくなると思うのです。この面積が。全体的に端まで印刷可能なような形にしてやったほうが、例えば、ここを崩したくなくれば、この上の全部を塗りつぶしてという形でもいいと思うのですが、全面を使えたらいい

いなという思いで、この２段目の方を挙げ
させていただきました。どうでしょう。

委員長

今、デザインのことも含めてなのですが、
高田真里委員からも意見がありました。が、
この古いイメージを打破するということも
含め、ほかにご意見は。それでは、この表
紙のデザイン、枠組み、フレームというも
のを変化させるということで、皆さんご意
見ないようですので、変化させるというこ
とで決定させていただいてよろしいでしょ
うか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

では、そのようにしていきたいと思いま
す。ただ、いつからやるかということなの
です。時期とかなのですが。

議事調査課長

枠を消す程度であれば、９月から対応可
能かと思えます。

委員長

今、事務局から、大きな変更ではなく
枠を広げるくらいなら、９月から対応可
能ということですから、９月からそのよ
うな方向でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

では、岡部委員の意見を活かしながら、写真とか含めながら、表紙の枠、フレームを変えて、デザインも含め、検討していくということで決定させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、次に8の「議案・意見書・請願の賛否一覧を会派および議員ごとに記載する」ということについてです。このことについて小西委員。

小西委員

富山市議会でも、同じ会派でも賛否が分かれることで、市民の皆さんに議員がどう賛否をとったのかが、わかりやすいかなと思って提案しました。

委員長

今、小西委員から、少しでも議会の内容の様子がわかるという趣旨で発言されましたが、これについてご意見は。

松井邦人委員

今、小西委員が言われた趣旨はわかる部分はあるのですが、実際、今の予算の中で作っているとやま市議会だよりの紙面的なスペースを考えますと、はたして議員38人分全員を記載するスペースが実際それだけあるのかどうかという問題もありますし、

他の議会のところを見てもみますと38人すらっと名前を書きますと、相当字数が小さくて何が書いてあるかわからない、見えない。だからそれは、当初の目標とは違う方向へいく可能性もありますし、今、実際、ここで会派の賛否が分かれば、おのおののに関してはホームページで確認することもできますので、あえて、そこを紙面上のところにこだわる必要性はないのではないかと思います。

委員長

ほかにご意見は。

木下委員

たしかに予算の関係、紙面の関係があるのですが、大分の市議会だよりによりますと、最終ページに、確かに小さいです。個人名が小さいです。確かに並んでいたりもするので、地方議会ですから、議員、個人個人の顔がもう少し見えてくるというか、そういう感じにしていけばいいのかなと思いますし、なかなかホームページまで見られない方でも、定期的に家に届く市議会だよりを目にする方もおられるかなと思いますので、私は個人別に入れても良いのかなと考えます。

委員長

小さくても入れるということですか。

木下委員 はい。

小西委員 質問ですけど、今、ホームページで議員ごとに、分かれた賛否が見られるのですか。

議事調査課長 ホームページで、8月1日から、見られるようになっています。

委員長 この点について、ほかに。

舎川委員 先ほども、議員の質問事項は、QRコードで見られる。ほかに表紙にも、QRコードで確認できるということであって、先ほどいったように、紙面的にある程度、見にくいものより、見やすいものにするためには、やはり連動させるような形にして、見にくい紙面を作らないという方向で考えたらどうかと思ひまして。1人1人は、載せなくても良いのではないかと思います。

委員長 今、舎川委員から、QRコードを載せることもあり、そちらの方にアクセスできるので、そういう紙面作りができることもありますので、1人1人の賛否につきましては必要ないのではないかという意見であります。ほかに。これからの、短期ではなくて、中期のほうのこれからの会合の中で、

ひょっとしたら次年度の委員会のかたが関わってくることもあるかと思いますが、今年度は会派だけの賛否一覧を載せるというスタイルでいきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

よろしいですか。では、今回はそのように。ご意見としては、小西委員の意見は、また次の時に出していただけるような形で。それでは、今回は、今までのとおり、議案・意見書・請願の賛否一覧を会派のみということで決定させていただきます。

それでは、9にあります「議会日程」についてですが、この議会日程の掲載について、当局から内容を教えていただければと思います。

議事調査課長

現在は、市の広報5日号と同時に議会だよりをお配りしております。定例会の日程ですが、1ヶ月前の議会運営委員会で決定されることが決まっていますので、5日号では、正直、校了日、その時点ではまだ決まっていないので、載せることはできません。20日号になれば、場合によっては載せることもできますが、確実に間に合うも

のではない。その時その時の議会の初日の予定ですとか、その前の本会議の終了日がいつになるか、そのへんのところの兼ね合いによって確実に載せれるものではないということで、今までも次回の定例会の日程を載せないで、5日号でやってきたという経緯があります。

委員長

委員長の立場では、できるだけ早く情報を出すということが原則だと思っています。これについて、松井委員は聞かれてどうですか。

松井邦人委員

私は単純に、他の議会報を見てみると書いてあったので、スケジュール的なことを抜きに、そういったことを知らせたほうが良いのかなという思いで、今、質問させていただいたのですが、確かに議会運営委員会の決を待たずにそういったことを、発表するというのは、はたしてそれが正しいのかという部分もありますので、それを尊重した上で、やっていくべきだと思っていますので、むしろ、議会で質問されたことに対して少しでも一般の人たちに知っていただくことを優先するべきという思いもありますので、これについては、こだわっておりません。

委員長

それでは、今まで通り、この日程については掲載しないということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定させていただきます。

それでは、次の10の「議会だよりの作成にあたり、別の視点からのアドバイスを入れることができないか検討をする」ということにつきまして、木下委員。

木下委員

とやま市議会だよりを、新しく作り変えていく、手に取った市民の皆さんが新鮮な感覚を持っていただけるものかなということを考えてみた中で、考えてみました。ちょっとお金がかかるかもしれないので、予算の関係もあるので、はたして、どんな形でやるのかということも検討しなくてはいけないと思うのですが、提案させていただきました。

委員長

このアンケートにつきまして、何かご意見ありますか。ひとつ、委員長の立場から言わせてもらいますが、先ほど冒頭でも言いましたが、今、委員長として、議会改革を

やって、皆さんの委員としての意識が大変高い中で、まず我々がしっかりとこの広報に取り組んでいくということ、とにかくこのスタイルを変えながらやっていく。これをもう1年とか2年続けながら、その中で改めて、また、市民の皆さんのアンケートとか声を問うという形で、やはり議員としての議会報という立場をしっかりと意識して作り上げていくのだということの中で、一文の中にはご意見をお寄せくださいとかそういったことは良いのかなと思っているのですが、いきなりアンケートとかは、時期尚早かなという気が委員長としてはしているのですが、皆さんはどのようにお考えでしょうか。

舎川委員

当然、市民の人からいろいろ話を聞くことは当然の問題で広く議会について知ってもらうこと、また、こちらからも伝えることも当然必要なのですが。やはり、今現段階で、こういった方に、アンケートするのとか、モニターですね。そういったかた、そういったかたに、話、ご意見をいただくのかも、そういったことも今後話をしながら考えていけばいいかなと思います。現状でこういったアンケートを載せるのは、もう少し考えながら、やっていければいいの

ではないかなと思います。

委員長 木下委員、いかがですか。

木下委員 今回の舎川委員のお話をききまして、私もおいおいにといいますか。今後でいいのかなと。導入に関しては。

委員長 それでは、今後、またいずれの時、必要な時に検討するというところで、決めさせていただきます。

次に、最後になりますが、「本文をタテ書き」にしたらどうでしょうかというご意見がありますが。

岡部委員 私です。問題提起として書かせていただきました。一般的にタテ書きに慣れているのです。役所の文書はヨコ書きがすごく多いもので、そういうところが少しあるのかなと。今どうのこうのという課題ではないですが、そういう感覚も必要かなということで、問題提起として書かせていただきましたということです。今すぐこうしたいという思いはそんなにありません。

委員長 でも、この際ですから、委員の皆さんの意見を伺っておけばいいかなと思います。こ

の点につきましてご意見がありましたら。

高田真里委員 タテ書きが、なんとなく多くて、小さい頃から教科書がタテ書きで、もちろんなじみがあるのですが、今、広報がヨコ書き、富山の広報紙もヨコ書きで、例えば、こういうたよりをお知らせするとき、グラフが出てきたり数字が出てきたりということが、すごく多くなると思うのです。私的には、読み物、物語とかはタテ書きだが、グラフだとかを使いながら説明しなくてはいけない時は、ヨコ書きの方がむしろいいのではないかと思っていて、タテ書きが駄目という感じではないのですが、今すぐ、岡部委員が言われましたが、今すぐ導入される必要性は早急にはないのかなと思っている感じです。

委員長 何かほかにご意見はありませんか。それでは、提案者であります岡部委員から、話があったとおり、今日、早急に何らかの結論を出すという問題ではないということで。

岡部委員 ちょっと逆らうようではないですが、タテヨコの混在というのはあるのです。記事としては、そういうのを使って非常に見やすいようにすればいいのかなと、なじみやす

いようにしたらという思いです。検討ということ。

委員長 一部タテ書きも入ってもいいのではということ。

岡部委員 中期でも、長期でもいいので。

委員長 そういったことも含めて、今日この場では、なかなか決定しない、できないこともあると思いますので、これからの議会報の中で、いろいろと意見調整し、また皆さんにいろいろ調べていただき、次年度に活かしていければと思っております。そういう形よろしいでしょうか。それでは、そのように決定させていただきます。

それでは、本日の検討事項につきましては、一定の方向性が定まったわけではありますが、これらについて、今、事務局からのまとめだとか、そういったことを含め、よろしくをお願いします。

議事調査課長 本日協議いただきました内容につきまして、事務局のほうから確認をさせていただきます。

検討事項の2番の写真につきましては、これまでも小さいお子さんなどを載せた写真

を採用したこともありました。最近は人物が入っていない写真ばかりでしたが、過去にそういう写真もありましたので、ご提案のとおり人物なども入れた写真を今後提示させていただきたいと思っております。

それから、3、4のQRコードですが、3番は質問された議員さんのところに直接インターネットの録画のところに飛ぶというQRコード、それから4番につきましては、市議会のホームページのトップページに行くということを決めていただきましたので、これにつきましては9月定例会号から対応できるものと思っております。

5番、6番、7番、11番につきましては、このあと、短期2の検討事項もございますのでそれらも兼ね合せまして、今後検討させていただければと思っております。先ほど粹だけなら9月から対応できるというふうにお答えいたしました。9月のレイアウトを決める際に、いくつか複数案みたいなものを提示させていただいて、また、その他の大きいものにつきましては、今ほど申しましたとおり、短期2との兼ね合いをみながら12月定例会号を目途に進めさせていただければというふうに思います。事務局からは以上です。

委員長

今、事務局の方からの説明、見解を聞いたのですが、今のことも含め改めて何かご意見はありますか。

舎川委員

富山市議会もどんどん新しい方向に、メンバーも替わって、議会全体として新しく進もうという中で見せるほうにも、非常に力を入れていければなと思っておりまして、議会報のコンクールとか、最終的には、議会も新しくなるのですが、見せ方も新しく、議会報としても新しい方向にできればと思っておりますので、これからもみんなで。まとめてしまっていていいでしょうか。せっかくなので、議会が新しくなるところで、議会報のコンクールを目指してやっていければなと思っています。

委員長

大変うまくまとめていただきましたが、コンクール目指してということでありましたが、他にご意見はないでしょうか。ないようですので、以上で、検討事項の協議は終了しました。

本日の協議結果について、本委員会として、決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

ご異議なしと認めます。よって、本委員会として、「とやま市議会だより」の協議結果について、決定いたしました。これで、本日の協議事項は、全て終了しました。次回は、9月13日に議会報編集委員会を開催しまして、9月定例会号のレイアウトがいろいろな案がありましたので、その協議と、12月定例会号に向けての、検討事項の短期2について、協議したいと思いますので、委員の皆様にはご出席いただきますよう、またご意見を準備、検討していただきますようお願いいたします。短期2、中期の課題として分類した項目につきましては、委員において、調査・研究を適宜、進めていただきますようお願いいたします。これをもちまして議会報編集委員会を閉会いたします。

平成29年8月21日

議会報編集委員会記録署名

委員長 高田重信

署名委員 松井邦人

署名委員 金谷幸則